



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

94.9.19 No. 4063

10.9三里塚現地集会へ

組合員の皆さん！
一〇月九日(日)、三里塚芝山連合空港反対同盟は、三里塚現地において全国総決起集会を開催する。

政府・運輸省・空港公団は、成田シンポジウムの破綻に続き、成田円卓会議においても、反対同盟の解体攻撃に完全に失敗している。

また、八月一八日、反対同盟は、切崩のために敷地内に現われた空港公団・中村徹新総裁を追い返した。

千葉県収用委員会は再建出来ず、強制収用は不可能となつて

いる。
反対同盟は、二期工事を完全に阻止して意気軒高と闘っている。

横風用滑走路「凍結」は、完全空港推進宣言だ！

運輸省は、脱落派との成田円卓会議のなかで横風用(C)滑走路の「凍結」方針を宣言した。

しかし、運輸省の狙いはあくまでも「完全空港化」であり、C滑走路については、当面滑走路としての使用を凍結し、現在一本しかないA滑走路と建設予定のB滑走路への誘導通路として使用し、騒音対策を見直した上で改めて進めていくとしている。また、B滑走路については、国際交流の拡大にこたえるために建設推進を図っていくとして

いる。何のことはない。円卓会議に出席している脱落派の闘争終焉への「置土産」として当面C滑走路の使用を凍結するといふものでしかない。

反戦・反核闘争の砦、三里塚を守ろう！

村山政権は、内戦が逆巻くルアンダへの自衛隊派兵を決定した。九月一七日に航空自衛隊第一陣、二十一日に陸上自衛隊先遣隊、十月二日には陸上自衛隊の本体が、ザイル東部のゴマ難民キャンプに入るとされている。

自衛隊の派兵規模は、陸上自衛隊二百九十人、航空自衛隊百八十人の計四百七十人の派兵となる。

「自衛隊合憲」、「安保容認」などの社会党転向のもとで、PKO派兵がなし崩し的に拡大されている。アメリカは、「ハイチ」への派兵さえ協力しろと迫っているのである。

カンボジア派兵の時、成田空港は自衛隊の輸送基地となった。ベトナム戦争時には、羽田空港は、米軍の派兵のためのチャーター便で一杯になった。有事の際には、民間空港は軍事に転用されることは、明らかだ。

反対同盟は、そうした軍事使用に反対し闘ってきた。全国で闘われる反戦・反核の住民闘争の先頭で闘ってきたのである。反十・九全国集会にあたり、反

一〇・九三里塚現地全国総決起集会
日時 一〇月九日(日) 正午より
場所 成田市南三里塚 反対同盟所有地
集合 成田駅改札口 一〇時三〇分

労働運動の軸に反戦闘争を！

対同盟は、「社会党委員長・村山富市を首班とする自社内閣は、日本の侵略体制をすすめる最悪の反動政権です。…北朝鮮制裁にもふみだそうとしています。『政権党ゆえの現実路線』とは、アジアを収奪し侵略する日本の『国益擁護』のことであり、戦争翼賛の道です。『核疑惑』を口実にした朝鮮戦争準備です。連合・社会党はこのもとに労働者農民、人民を導こうとしています。これが反戦・平和を願う人民にたいする挑戦でなくて何でしょうか。日本の住民運動、反基地闘争、農民運動、労働運動に新たな展開が求められています。闘いの真価がいまほど問われています。

三里塚は反戦・反核、反権力の砦であり、全国住民運動の拠点です。」と訴え、全国に檄を発している。

「農地死守」の闘いを貫き、空港建設を阻み、日々勝利している三里塚反対同盟の呼びかけに応え、一〇・九三里塚現地集会へ総力結集しよう！

労働千葉第一二一回定期大会

とき 一九九四年一〇月一日(土) 一三時から
二日(日) 一二時まで

ところ 野栄町・国民宿舎「のさか望洋荘」
交通 総武本線八日市場駅で下車、千葉交通バス栢田浜(かやたはま)經由横芝行で、野出浜下車すぐ
*なお、二日の定期大会終了後、全国物販担当者会議を開催します。